

## 整備作業進捗状況(2005年9月)

実施項目		実績(9月)	予定(10月)
旧核燃料試験施設整備	1. 試験設備の解体・撤去	(完了)	
	2. F棟、S棟の整備及び保管	(完了)	
	3. 施設E及びP建屋内除染	(完了)	
	4. 土壌等建屋周辺物の撤去及び保管	(完了)	
	5. 施設E及びPの解体・撤去	(完了)	
	6. 周辺環境モニタリング	敷地境界での空間線量当量率及び空気中の放射能濃度の測定を実施	同左
	7. 新保管庫建設及び放射性廃棄物の保管	搬入済の放射性廃棄物を保管	同左
	8. その他	放射性廃棄物の量は、9月30日現在、200リットルドラム缶152本、1.5m <sup>3</sup> 角型容器2,756個、2m <sup>3</sup> 角型容器828個(注1参照)。最終確認作業を実施(ボーリングコア採取試料の分析作業)(注2参照)	最終確認作業を実施(ボーリングコア採取試料の分析作業)
所内全域調査	1. 所内全域の空間線量当量率測定	(完了。ただし、建物のある場所などは除く)	
	2. 既存コアの放射線測定	(完了)	
	3. ボーリング調査	調査結果の整理	同左
	4. 土壌のウラン・トリウム分析	ボーリングコア採取試料の分析作業を実施(9月末完了)	分析結果の整理

注1) 放射性廃棄物量を200リットルドラム缶換算で表示しますと、全体で29,102本となります。なお、NDC社の放射性廃棄物量は、1.5m<sup>3</sup>角型容器で1,180個(200リットルドラム缶換算8,850本)です。

注2) 分析作業が完了するのは10月末の予定です。

以上